

ASUKU ASK



11

2024

No.432



尾張旭を起点に 生活クラブのまちづくりを広げていこう!!



生活クラブ愛知では私たちの「あったらいいな」を実現するために「まちづくり」に取り組んでいます。何をどのように進めていくのか、具体的な構想をお知らせします。（理事長 中野 京子）



生み出すまでの「プロセス」を大切に

私たちが最も大切にしたいのは生み出すまでの「プロセス」であり、過程を仲間と一緒に楽しみたいのです。

地域に住む一人ひとりの夢を共有し、主体的に「やりたい」を行動に移す人たちがつながりあい、自然と活動の輪が広がっていくことによって「あったらいいな」をかなえていく。そんな人が集まり交流していく空間（拠点）を地域に生み出します。

「生活クラブ館基本構想」

2024年夏、3人の有識者をアドバイザーに迎え「尾張旭生活クラブ館基本構想検討会議」をもちました。専門的な知識による見解が加わることでメンバー同士での討議もより活発に。4回の会議を経て基本構想をここに示します。

「ハコモノ」ではなく「まちづくり」

私たちの構想する「生活クラブ館」は、ローカルSDGsの実践の場です。「ハコモノ」を作るのではなく生活クラブを核に市民の自治領域を地域社会に広げていく「まちづくり」の拠点です。

集まれ仲間! 「この指とまれ」

10月末より「愛知版ローカルSDGs」の実践拠点(尾張旭センター隣接地)を生み出す為の話し合いを始めます。どんな建屋を作るかではなく「どういう人が集まり、どんな機能を生み出すのか」を話し合いのテーマとします。そして「私は〇〇をやりたい!一緒にやりたい人はこの指と〜まれ」の「このゆびとまれ」方式でメンバーを募集します。

有識者の皆さん



▲朝倉 美江さん
金城学院大学教授



▲大島 もえさん
尾張旭市議会議員



▲清川 千春さん
共生福祉会わっぱの会

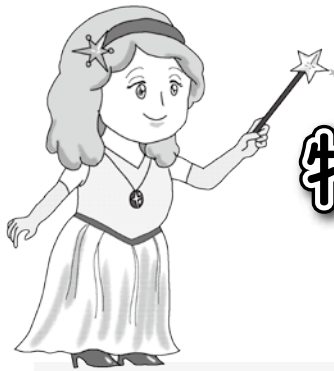
contents

P1 尾張旭を起点に
生活クラブのまちづくりを広げていこう!!

P2 いつもの素材で特別な日を彩ろう!

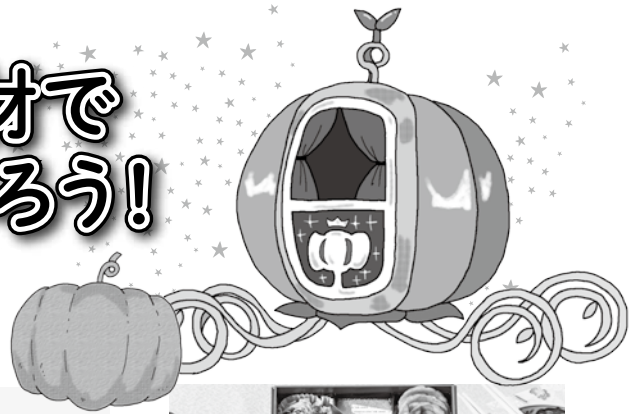
P3 やっぱり気になる 地球の未来

P4 第51回庄内交流会
生活クラブの食糧基地を訪ねて



いつもの素材で特別な日を彩ろう!

クリスマス・お正月



〈手作り派も時短派も〉

クリスマスやお正月シーズンは、ふだんカタログに載っている消費材を变身させましょう! 調理の仕方を変えたり、デコレーションするだけでおしゃれに。温めるだけで豪華なものもたくさん。

早期に申し込みば割引価格で受け取れるものや、この時期にしか注文できないものもあるので、お見逃しなく!



期間限定、注文スケジュールにご注意!

ビオサポレシビ



Instagram
「#やっぱり生活クラブ」
で検索してね

	クリスマス	正月用品 おせち	おせち(追加) お取り寄せ
カタログ配布	10/28~11/1	11/4~11/8	11/11~11/15
注文書 提出	11/4~11/8	11/11~11/15	11/18~11/22

こなこと★ やってます 豊橋 エリア

「つながることから始めよう」をテーマに活動している豊橋エリアでは、共通の趣味や興味でつながるサークル活動のしくみづくりに挑戦しています。

豊橋エリアは愛知の端にあり、他のエリアの活動に接する機会がありません。なじみの薄い活動を身近なものにするために、豊橋エリアの中でつながりやすいしくみをつくり、一歩が出やすいスモールステップとしてサークル活動を提案しました。それと同時に

エコロクラブも紹介、興味を持った3名をつなげました。

豊橋エリアのモットーは「まずはやってみる!」。必要と思うものを仲間と作り、試行錯誤しながらつながる楽しさを広めていきます。

サークルの条件

- ・3人以上の組員
- ・エリア専用のオープンチャットにて活動のお知らせ
- ・年1回の文化祭(仮)に参加
- ・活動費の会計報告

トピックス

酒田市・遊佐町の7月大雨被害に、生活クラブ連合会は現地に役職員を派遣、愛知からも視察・支援ボランティアに参加しています。

支援活動は、遊佐町の杉沢地区を中心に田んぼのがれき・流木の撤去、コンバインが入れなくなった田んぼで手刈り収穫するなど。作業には延べ100人を超える組員と職員が参加。カンパでの支援も行われています。



▲支援に参加した小島事業部長

やっぱり気になる地球の未来



このまま温暖化が進むと私たちが住む地球はどうなっていくのでしょうか。まずは、我慢しなくてもできる環境にやさしい生活から始めてみませんか。

地球の温暖化が進むと、極端な高温、大雨・干ばつが起これと言われていますが、今年まさにそれを強く感じる夏でした。各地で記録的な猛暑日が続く、局地的な大雨も広範囲でおこりました。海水温も上昇しているので魚の水揚げ産地にも変化がでてきているのはもう数年も前からのこと。農作物も高温に強い品種への改良が急ピッチで進められています。地球上で人類が便利に暮らすために環境に負荷をかけているのは紛れもない事実ですが、「私たちにまだまだできることがある」と、環境問題に詳しい専門家は話します。

生活クラブでも環境に配慮する取り組みをいろいろ実施しています。その中でも特におススメしたいのは、生活クラブでんきへの切り替えです。家庭で使う電気を再生エネで発電しているものに変えることで、我慢しなくても脱炭素に貢献できます。

↓ 企画に参加して疑問を解決! ↓

再エネ・省エネフェア in 名古屋センター

11月11日(月)
11:00~14:30

食べて学んで体験できる!!
日々の暮らしに役立つヒントが満載。
骨密度測定もできます。

地域のゆたかを実現する脱炭素を考える

丸山康司さん講演会

11月26日(火) 10:00~12:00

会場:カネヨシプレイス(旧みよしサンアート)

未来のために『再生可能エネルギー』の普及を考える時。何が必要で、どのようなやり方が望ましいのか。環境にかかわる諸問題に関して、社会学の立場からアプローチ!



▲名古屋大学
環境学研究科教授
再生可能エネルギーの導入に伴う問題にも取り組んでいます

参加申込はチラシ又はホームページから!



花縁便

営農型太陽光発電 これは農地の上に太陽光パネルを設置することで太陽の恵みを作物と発電で分かち合うしくみです。生活クラブ愛知も出資している「野辺山営農ソーラー」は長野県では最大級となる発電所(約300世帯分の年間電力供給)として、昨年10月に落成式が行われました▼以降、発電した電気は、すべて生活クラブエナジーへ売電され組合員宅へ供給されています。今年の4月、野辺山に農業に適した量の水脈が見つかり、ホウレンソウや花の栽培も始まりました▼敷地にある別荘を活用してカフェの運営、キャンプ場宿泊施設の展開、ソーラーシェアリング農業(収穫体験といった、この場所にある地域の資源(農業、文化、自然)を活用したコミュニティづくりも計画されています▼営農型太陽光発電をきっかけに地方と都市がつながり、心豊かな地域社会をつくるこの試みが、先進的なモデルとなり、広がっていくことに期待します。

(専務理事 山田晃久)

9月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,078人	148人	-64人
出資金	1人当り出資金	
1,329,160 千円	119,981 円	
供給高	1人当り供給高	
172,567 千円	16,429 円	
▼共済加入件数		
ハグくみ	CO・OP共済	エコロ共済
1,324 件	4,844 件	8,510 件

生活クラブでんき契約者

累計443件(9月)
再エネ100%プラン 21件
時間帯別プラン 11件

今月のリユース率

ビン 回収率(9月)
900mlびん...75.1%
500mlびん...72.6%
Rびん全体 ...75.4%



生活クラブ
でんき

グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle



第51回庄内交流会 | 2024年7月21日~23日 生活クラブの食糧基地を訪ねて

組合員が年に一度山形県の庄内地方を訪れ、生産者と親睦を深める「庄内交流会」。51年目となる今年、全国から60人を超える組合員が参加し、米や豚肉や加工品の生産現場、メガソーラーなどを見学しました。生活クラブ愛知からは3人が参加し、感想を寄せてくれました。

素晴らしい自然、熱い生産者

待ちに待った庄内交流会。お米・野菜・そして平田牧場のお肉がおいしいのは… きっと庄内の風土に関係があるのだろうと思っていました。訪れてみれば海あり山あり川ありの素晴らしい自然。そして情熱あふれる生産者の皆さんの想いが、私達においしい消費材が届けられる秘訣なんだ!と思いました。

このおいしい消費材を食べ続けたい!庄内の豊かな自然が今後も続くようにできるとしてきたいと強く感じた庄内交流会でした。

(消費担当理事 堀 美奈子)

▶7月の遊YOU米圃場



▲生産者はパプリカも育てています



「新マトリックス有機 N12」▲肥料を施した圃場にて

田んぼに行ってわかったこと!

遊YOU米の圃場には稲が青々と育って広がっていました。生産者によると、作業する人の高齢化で、肥料散布の回数を減らすために**発肥料**(植物由来の生分解性プラスチックでコーティングされた肥料)

を使っていましたが、マイクロプラスチックを使わない**新マトリックス有機肥料**(ゆっくり長く効く)を現在試しているとのこと。

生産者が約束を守るための努力と有機肥料での米作りの苦勞がわかり、感謝とともに組合員としての責任感でいっぱいです。予約を通じて生産者と手をつないでいきます。

(単協消費委員長 小坂 礼子)

たくさんの組合員に伝えたい

毎日弾丸スケジュール!濃い~4日間でした。参加して本当に良かったです。お声かけいただいたことや家族の協力に感謝しかありません。

生活クラブと庄内との繋がり、私たち組合員の元へ消費材が届くまでの日頃の苦勞や想い等、もっとたくさんの組合員に伝えたいです。知ると食べたくなります♡是非各エリアの報告会に呼んで下さい!

(単協消費委員 俵谷 愛弓)



▲古民家風の月山トラヤワイナリー

information

●からだもおなかも
生活クラブまるごとフェスタ
11/14(木)、15(金)
10:30~15:30
吹上ホール(展望ホール)

【来場生産者】

- 両日とも参加
おとうふ工房いしかわ
下津醤油・わっぱん
紀伊半島協議会
- 11/14のみ
コーミ・トーエー食品
- 11/15のみ
三重県漁業協同組合連合会

★他にも様々なコーナー有
担当:本部(井手)052-899-0770

理事会報告

第4回定例理事会報告
9/26理事監事16名出席

◆討議・討議決定事項

- ・愛知単協として「2026年度から組織再編実行を方針化」することの決定
- ・2024年度エコロファンドあいち運用ルールの決定他

◆報告承認・報告確認事項

- ・保育ルームここいく防犯対策強化のための整備について
- ・11~1月生活クラブでんきスイッチングキャンペーンに向けて他

編集後記

紅麴など食べないし、と思っていたが、ふと「お正月のかまぼこって、紅麴を使っていなかったっけ?」と気になった。

生活クラブHPでわかったのは「紅麴そのものを原材料に使用した消費材はない」とこと、「紅麴と紅麴色素は違う」ということ。紅麴色素は紅麴菌の培養液から抽出した色素が主成分の食品添加物で、食品衛生法で規格基準が定められているようだ。よく言われる「わかって食べる」って大事だと実感。(N)

発行日: 2024年10月28日 発行部数: 10,100部 発行責任者: 理事会 編集: 広報委員会 作成: デザインコーナーズ COCOT 印刷: 株式会社マルフ
生活クラブ生活協同組合愛知本部 〒468-0045 名古屋市中区野並1-120 TEL 052-899-0770 FAX052-899-0802 名古屋センター: TEL 052-899-0801
尾張旭センター: TEL 0561-55-3611 豊田センター: TEL 0565-28-8345 豊橋センター: TEL 0532-65-9750 ひだまり館: TEL 0564-73-2767